

平成30年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成29年12月8日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1(歴史的風致維持向上計画推進会議の開催).....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1(ひろさきビューマップ作製事業).....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1(弘前城本丸石垣整備事業).....	3
2(景観重要建造物保存修理助成事業).....	4
3(旧藤田家別邸保存修理事業).....	5
4(鷹揚公園整備事業).....	6
5(市民中央広場整備事業).....	7
6(伝統的建造物群保存地区地方道改修事業).....	8
7(主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業).....	9
8(追手門広場改修事業).....	10
9(趣のある建物指定制度).....	11
10(弘前市民俗芸能保存育成事業).....	12
11(津軽塗技術保存伝承事業).....	13
12(景観まちづくり刷新支援事業).....	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1(文化財の保存、文化財の修理・整備).....	16
2(保存・活用を行うための施設の設置、文化財の 周辺環境の保全、文化財の防災).....	18
3(保存・活用の普及と啓発).....	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5).....	22
1 弘前城の知識深めて 下乗橋東側に「情報館」オープン デジタルデバイス活用 歴史紹介や映像投影	
2 旧消防屯所で津軽塗伝承 弘前・紺屋町 保存会研修拠点に	
3 津軽伝統工芸…歴史、デザインにどっぷり こぎんの古里体感 首都圏の愛好家ら弘前など巡る	
4 仲町の魅力や未来は 弘前でシンポジウム 武家屋敷などの伝統的建造物群 保存・活用へ意識高め	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1(景観ブースの開催).....	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2).....	24

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	現在の状況
歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	平成30年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画策定後は、歴史的風致維持向上計画推進協議会及び歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチームを設置し、各事業者（県、市、民間事業者等）と連携しながら適切に計画を進めます。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

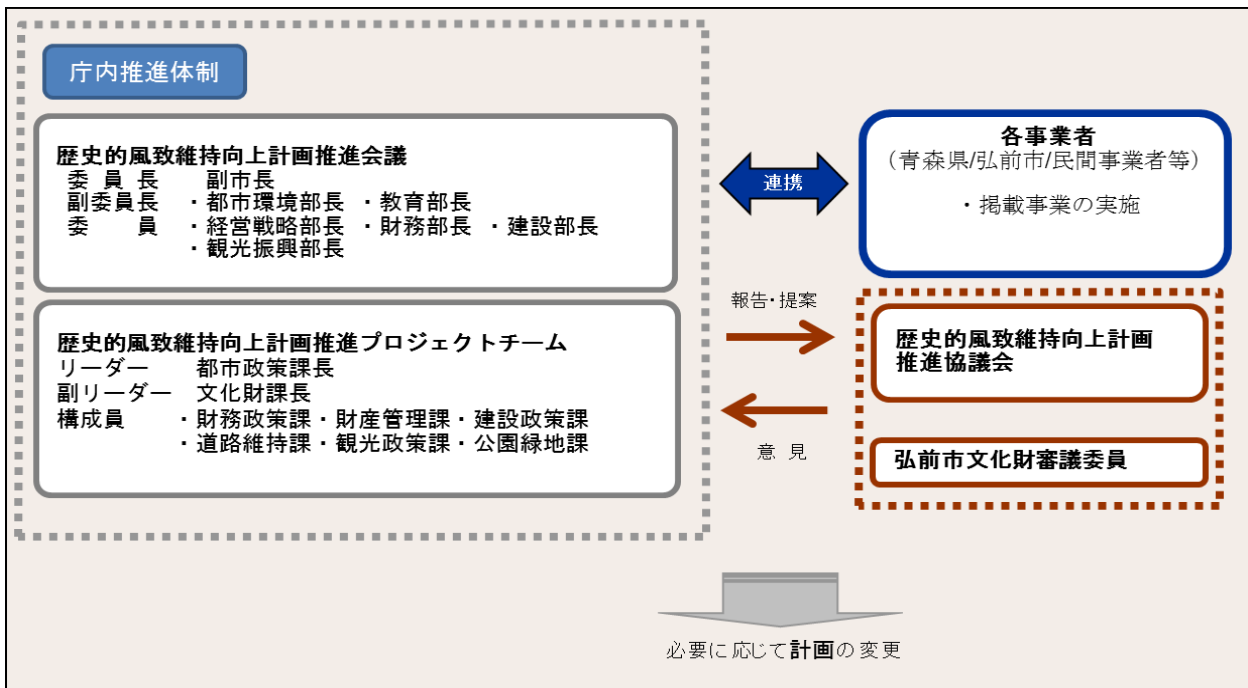
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

第1回

- (1) 開催日 平成30年12月7日（金）
- (2) 案件 弘前市歴史的風致維持向上計画最終評価（案）について
弘前市歴史的風致維持向上計画（第2期計画）（案）について



第2回

- (1) 開催日 平成31年 3月26日（火）
- (2) 案件 計画進捗評価について

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
ひろさきビューマップ作製事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【市役所正面玄関での設置状況】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～平成36年度
 支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 弘前城本丸の石垣の積み直し及び重要文化財弘前城天守の保存修理の実施により、「弘前さくらまつり」に見る歴史的風致」の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、平成28年度から実施している石垣解体工事について、10月26日で延べ2,172石の解体を終え終了している。また、昨年度に引き続き、弘前城跡本丸石垣修理委員会及び弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会を開催し、石垣解体状況や積み直し整備方針(案)のほか、今年度の発掘調査の方針と成果について報告し了承を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない 調査・測量・有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

第1回 平成30年10月1日 石垣解体状況、積み直しに向けた検討課題について

第2回 平成30年12月13日 石垣積み直し整備方針(案)等について

第3回 平成31年3月 日 石垣積み直し整備方針(案)等について

○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会

第1回 平成30年11月2日 発掘状況の報告

【第1回 石垣修理委員会開催状況】



【発掘調査状況】



【石垣解体工事状況】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物保存修理助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存修理に係る経費の一部を助成することにより重点区域内の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当事業の計画的な運用と今後の施策検討のため、景観重要建造物14件のうち民間所有の6件について、所有者に対し改修予定調査を実施した。「木村産業研究所」(平成24年10月16日指定)について、建物の老朽化が著しいため、外壁・外壁建具のシーリング及び塗装(下地共)の修繕工事を行い、費用の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【改修箇所】



【東面外壁】



【東面サッシ】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
旧藤田家別邸保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 旧藤田家別邸の洋館、和館及び考古館は、多くの市民や観光客の目に触れる施設であり、内部を公開するなど積極的に活用していますが、築後90年以上と老朽化が著しいため保存修理を行います。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

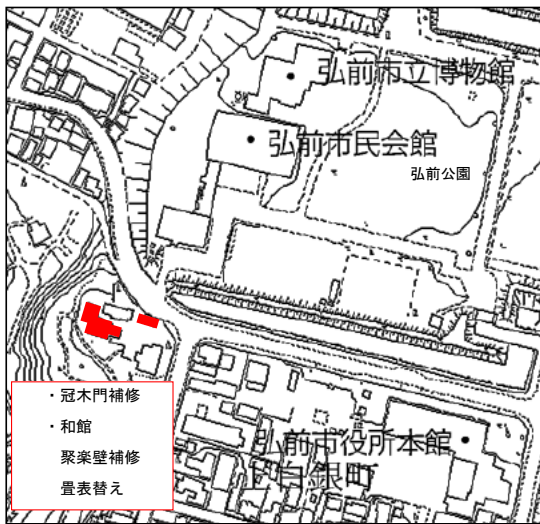
今年度は、藤田記念庭園入園者の安全確保のため、正面入口の冠木門の一部補修と和館の聚楽壁補修及び畳表替えを行った。これらにより、弘前公園周辺エリアを訪れる観光客の安全と利便性の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



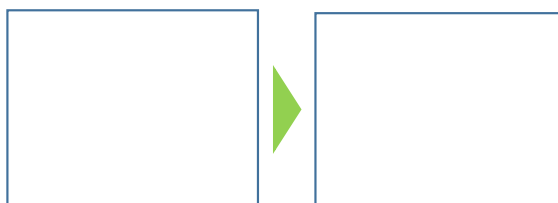
【旧藤田家別邸 和館】



【冠木門補修】



【和館 聚楽壁補修】



【和館 畳表替え】



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
鷹揚公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

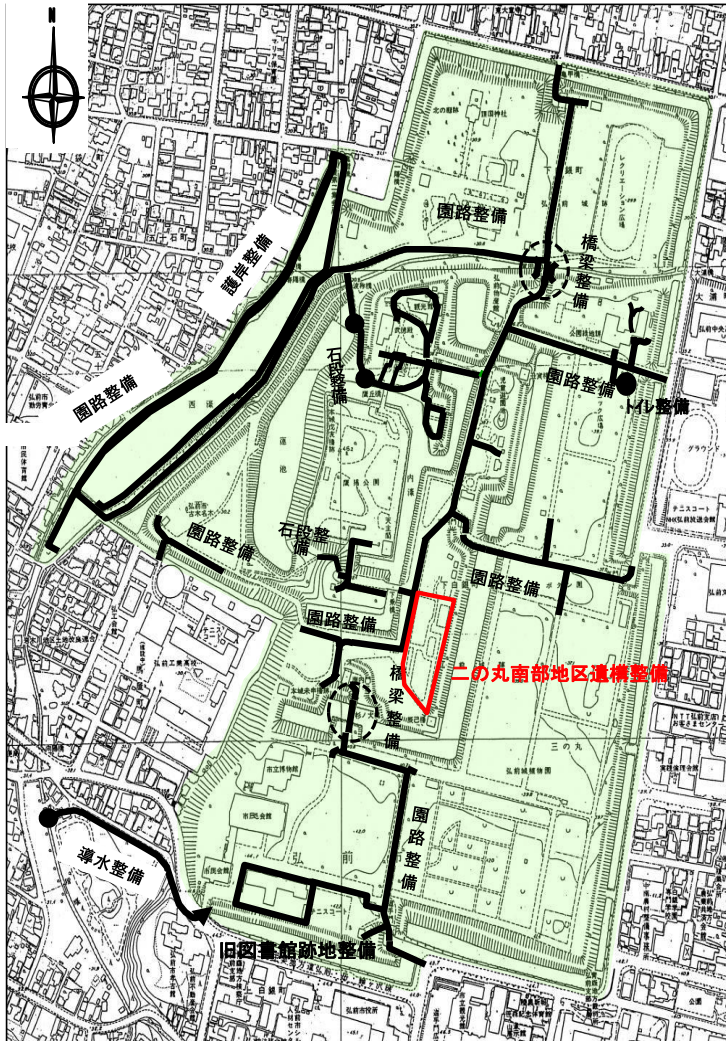
今年度は、昨年度に引き続き二の丸周辺整備の工事を実施した。
 施工面積:A≒3,500㎡

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



H29年度迄整備 : 黒線
 H30年度整備 : 赤線

【二の丸南部地区遺構整備工事】



評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
市民中央広場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 景観まちづくり刷新支援事業

計画に記載している内容 市民中央広場では、鷹揚公園(弘前公園)に近接し、「弘前ねぶたまつり」の時期には、ねぶた小屋が設置される多目的広場で、この広場整備により弘前公園周辺の良い景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備予定箇所の修正実施設計、移転補償対象契約6件を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

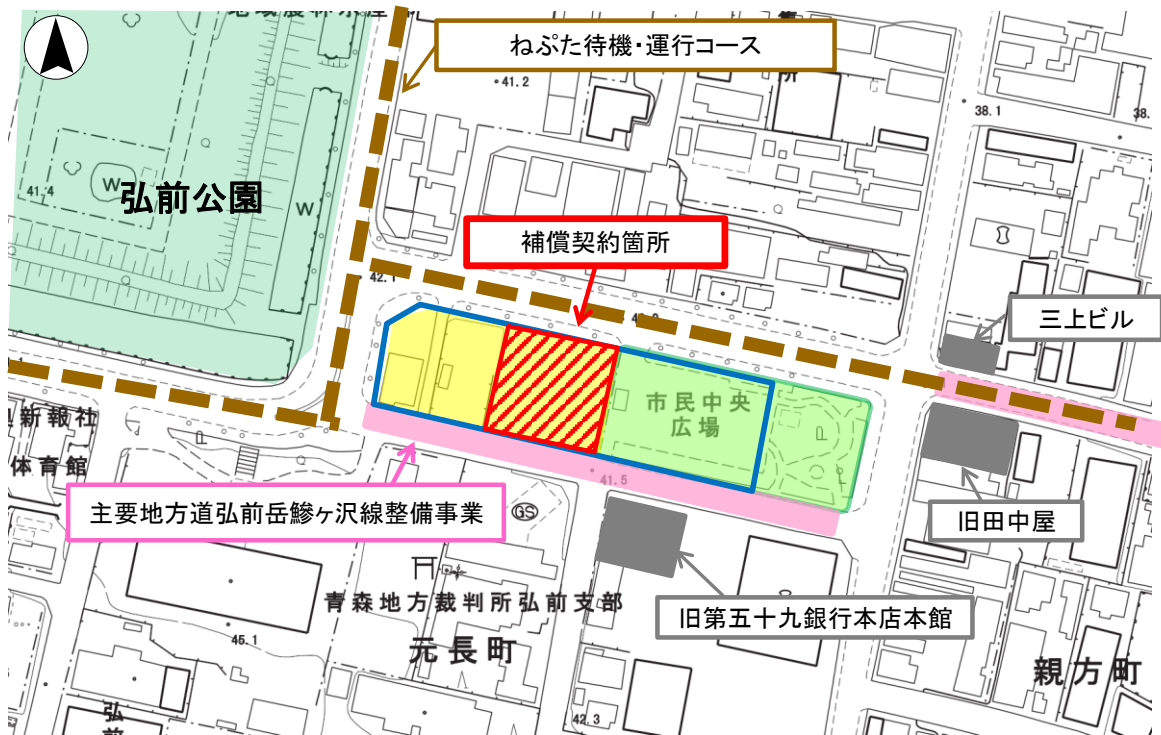
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

建物所有者、借家人と移転時期を調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



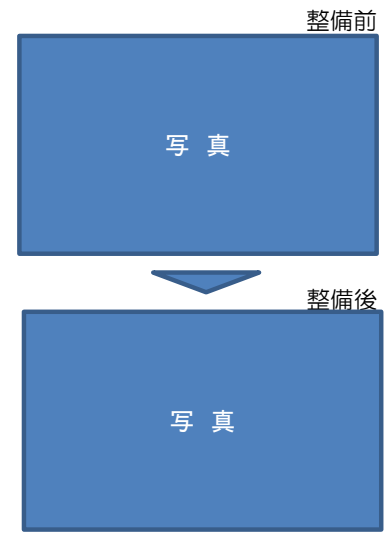
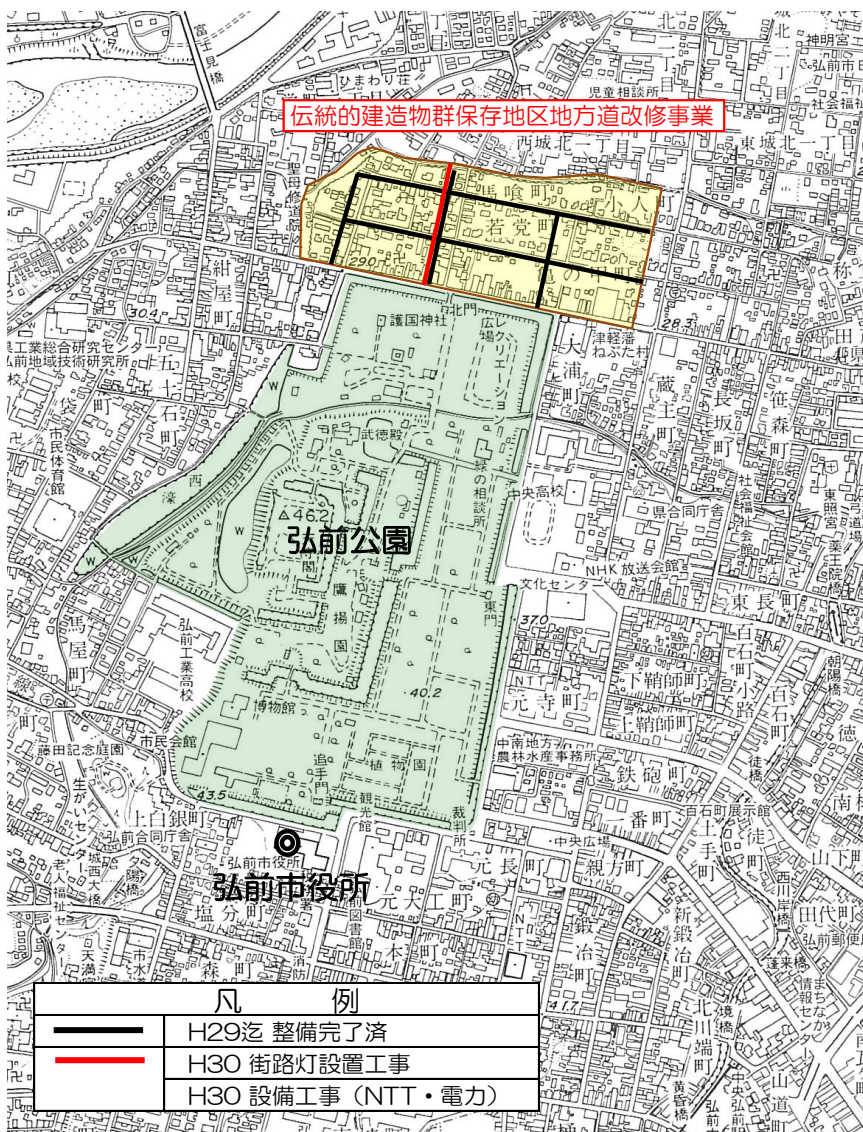
事業箇所	
主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	
市民中央広場整備事業	既設:
	拡張予定:
	整備予定:

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統的建造物群保存地区地方道改修事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	鷹揚公園(弘前公園)の北側に位置し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仲町地区の無電柱化及び消融雪溝の整備により、弘前公園と一体となった景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
仲町地区において鷹揚公園(弘前公園)と一体となった景観形成を図るため、市道亀甲向外瀬線において地上機部分の特殊部と街路灯を設置。併せて設置通信・電力事業者による設備工事を実施した。 ○電線共同溝特殊部設置 N=1基 ○街路灯設置 N=5基 ○引込・連系設備(通信・電力) N=1式			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・平成31年度は通信・電力の切替と電柱の抜柱及び抜柱部分の側溝整備と舗装工事を実施し、本事業が完了となる予定。		

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 本路線は、ねぷた運行のメインルートになっているほか沿道には歴史的建造物が建ち並んでおり、景観を阻害している電線類を地中化することにより、回遊性及び景観の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

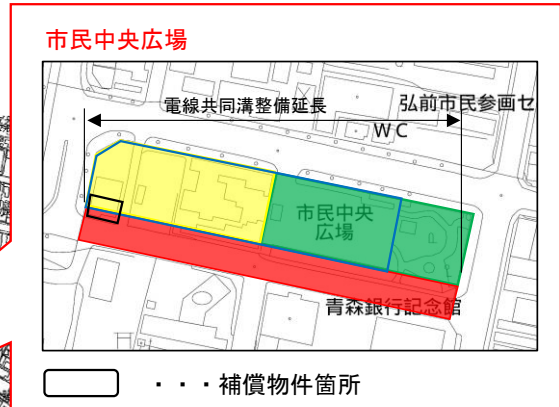
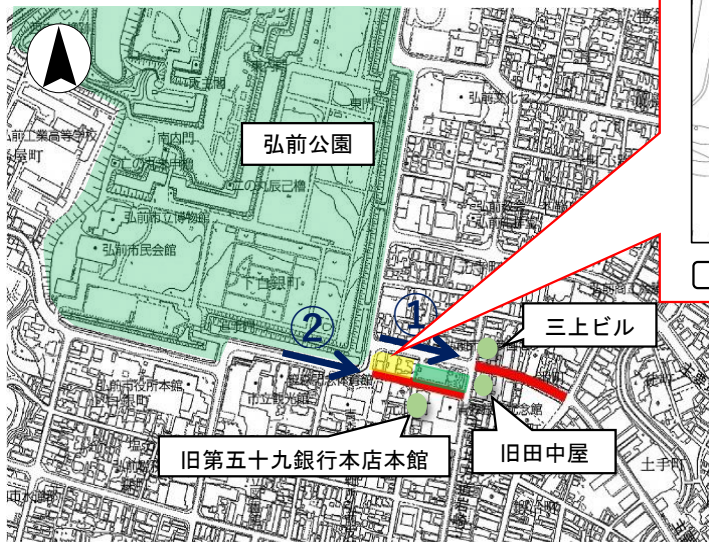
県所管である当事業の整備区域内、延長約150mにおいて、電線共同溝連系管路及び引込管設備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

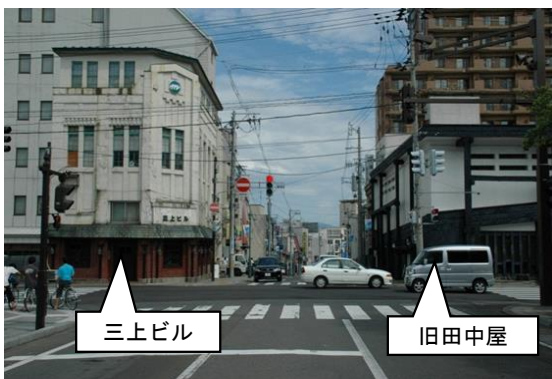
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 弘前公園側の補償物件について、建物所有者と移転時期の調整に時間を要していたが、今年度まとまったことから、来年度に補償物件の移転を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



事業箇所	
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業	
市民中央広場整備事業	既設:
	拡張予定:
	整備予定:



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
追手門広場改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、当市の観光・文化の拠点となっている追手門広場の老朽施設等の改修により、弘前公園周辺の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

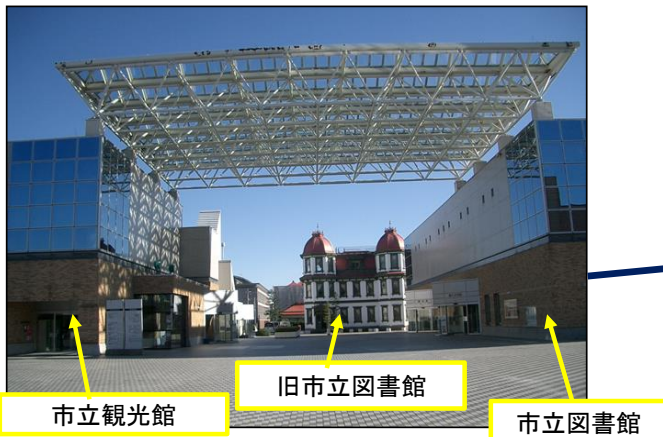
追手門広場内の老朽化したタイル16箇所(10.54㎡)の補修、腐蝕した軽車両用スロープの撤去、ミニチュア建造物群の一部(6基)の補修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

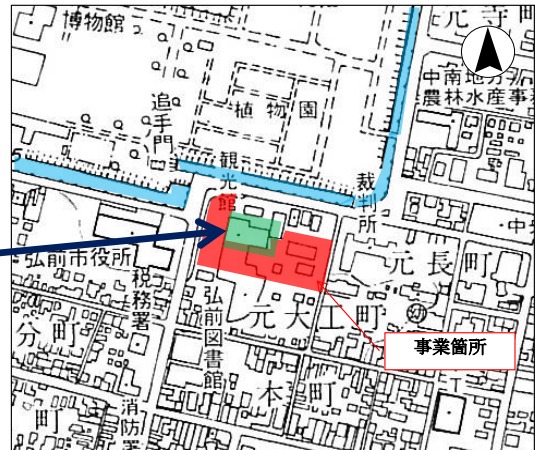
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【追手門広場】



【事業位置図】



【タイル補修】



【スロープ撤去】



【ミニチュア建造物補修】



【補修後】



【撤去後】



【補修後イメージ】



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
趣のある建物指定制度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 当市の風情を醸し出している古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信することで、弘前の新たな魅力の発見など歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約30,000部)

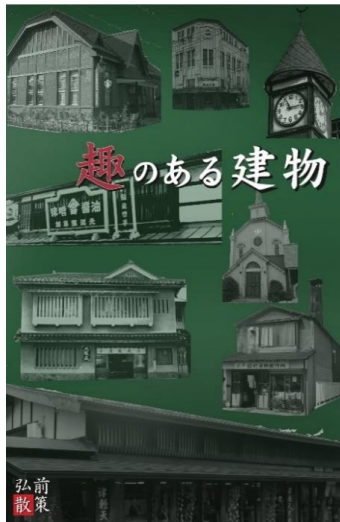
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【弘前城二の丸情報館 設置状況】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
弘前市民俗芸能保存育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 獅子舞や登山ばやしなどの保存団体の育成活動に必要な経費の一部を補助することにより、民俗芸能の保存継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽地方特有の民俗芸能の保存伝承に取り組む団体に対し、後継者育成活動経費(講師謝金、会場借上料等)や、芸能発表会経費(会場借上料、交通費、運搬費等)の一部を補助。また、市指定無形民俗文化財保存団体の活動に必要な用具・衣装の修繕料及び購入費の一部を補助。

平成30年度は、大沢獅子舞保存会(獅子頭の修理費)、紙漉沢獅子舞保存会(獅子頭の修理費)、松森町津軽獅子舞保存会(本染め着物の購入費)、鳥井野獅子踊保存会(一尺六寸太鼓の修理費)、国吉獅子踊保存会(囃子方鉄鉦の購入費)に対し補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

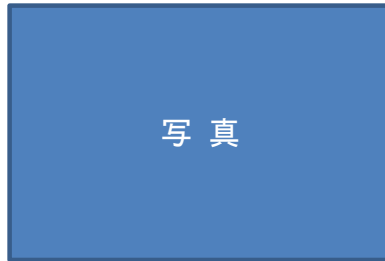
後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。

状況を示す写真や資料等

【獅子頭(大沢獅子舞保存会)】



【獅子頭(紙漉沢獅子踊保存会)】



【本染め着物(松森町津軽獅子舞保存会)】



【鳥井野獅子踊保存会(一尺六寸太鼓)】



【囃子方鉄鉦(国吉獅子踊保存会)】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗技術の研鑽のための古技法再現に必要な漆などの材料費及び後継者育成に必要な用具確保や、講師謝金などの経費の一部を補助することにより、伝統工芸の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。
 <津軽塗技術保存会 平成30年度活動状況>
 (1)後継者育成:塗研修生3名、木地研修生2名
 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。
 30年度から2ヵ年かけてお椀を制作。
 (3)特別発表会:市民・観光客等を対象とした津軽塗作品等の展示及び販売、津軽塗に関する解説パネルの展示。
 平成30年4月25日～5月6日、11月1日～11日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)
 (4)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示
 平成31年3月 日～ 日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

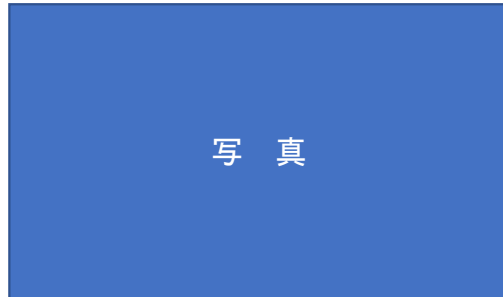
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 保存会の津軽塗技術伝承については体制の構築が急務であるが、市としては今後も引き続きより一層のサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修(塗研修)の様子】



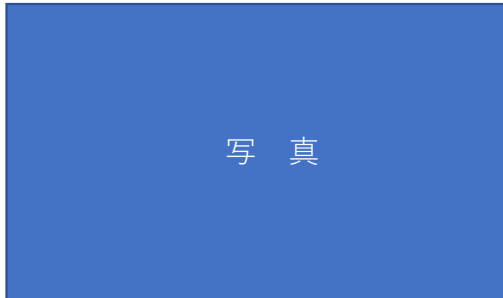
【再現作品制作の様子】



【特別発表会の様子】



【成果発表会の様子】

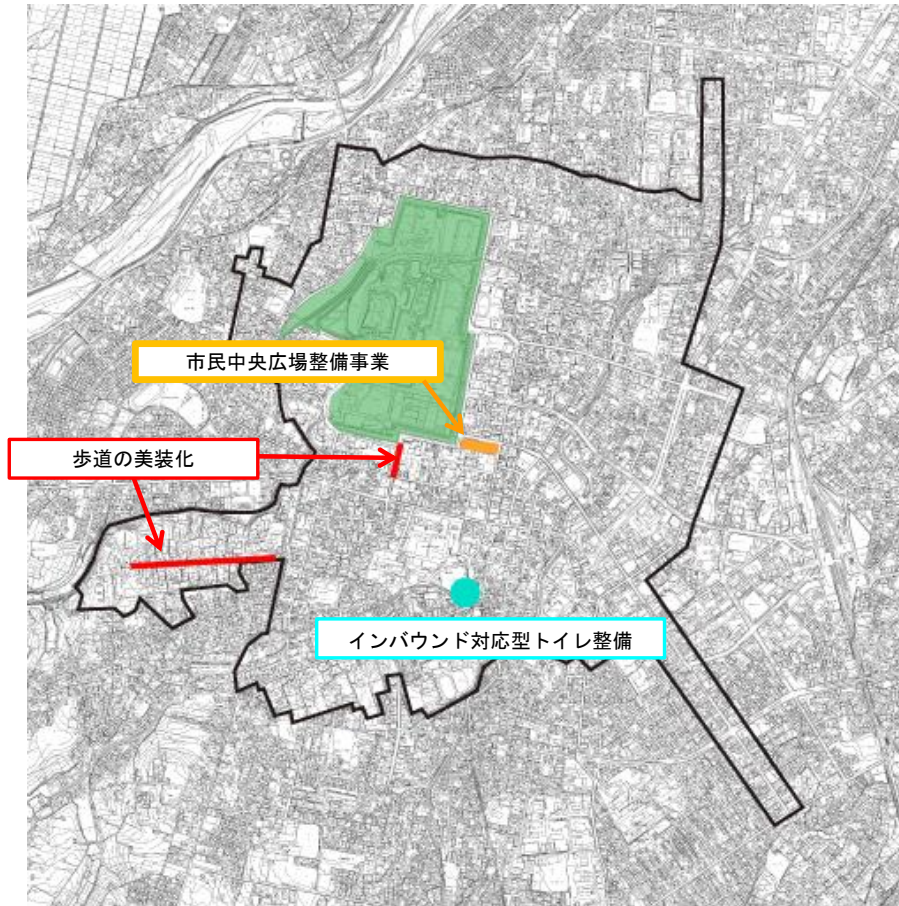


評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
景観まちづくり刷新支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名	景観まちづくり刷新支援事業		
計画に記載している内容	JR弘前駅から弘前公園、禅林街を結ぶルート上においてレトロモダンな観光周遊ルートを形成するため、広場の景観に配慮した環境整備、歩行者動線の美装化等により、良い街並み景観を形成します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>1. 事業計画の見直し 各事業の必要性を再度検討し、計画の見直しを行ったことにより、一部事業の中止及び追加を行った。</p> <p>○中止となった事業 【歴史的風致形成建造物移設等事業】 (事業概要: JR弘前駅から弘前公園や禅林街へ続く周遊ルート上において、要所に歴史的建造物を移設、復元) 【岩木川右岸環状線ガードレール美装化事業】 (事業概要: 岩木川右岸環状線のガードレール及び転落防止柵の色調を周囲と調和したものに改修) 【エントランスロード街路灯改修事業】 (事業概要: 市道萱町線において老朽化がすすむ街路灯の整備)</p> <p>○追加となった事業 【観光館トラス撤去事業】 (事業概要: 老朽化した弘前市立観光館のトラスを撤去) 【青森銀行記念館ライトアップ事業】 (事業概要: 青森銀行記念館のライトアップによる夜間観光の推進) 【市道土手町住吉町線高質化事業】 (事業概要: 市道土手町住吉町線の道路の美装化)</p> <p>2. 平成30年度事業内容 ① 歩道の美装化 【上白銀・新寺町線歩道改修事業】 (事業概要: 市道上白銀新寺町線の歩道の美装化) H30年度は工事を実施 【禅林街歩道改修事業】 (事業概要: 禅林街の歩道の美装化) H30年度は実施設計を実施</p> <p>② 市民中央広場整備事業(再掲) 【市民中央広場拡張整備事業】 (事業概要: 市民中央広場を景観形成重点地区にふさわしい広場として拡張整備) H30年度は実施設計、用地買収等を実施</p> <p>③ 観光案内板等の多言語化 【周遊性向上のための多言語説明板整備事業】 (事業概要: 弘前市内各所にある観光案内板・観光案内誘導標識の多言語説明板を29基更新) H30年度 整備完了</p> <p>④ インバウンド対応型トイレ整備 【インバウンド対応型トイレ整備事業】 (事業概要: 南塘町バスプールに、バリアフリー化、洋式化された公衆便所を整備) H30年度 整備完了</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		

【事業位置図】



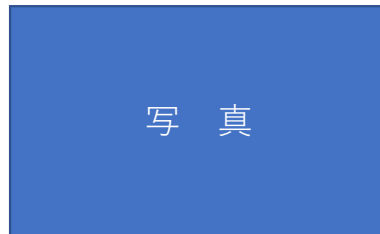
【市民中央広場拡張整備事業】



【上白銀・新寺町線歩道改修事業】



【周遊性向上のための多言語説明板整備事業】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 弘前にのこる歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存

- ①国登録記念物(名勝地):1件指定【丹藤氏庭園(旧三上氏庭園)】
- ②埋蔵文化財:詳細分布調査を3地区で実施。
- ③民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(5団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。
- ④大石武学流庭園調査事業
事業期間:H28~30年度

H30年度は、H28及びH29に引き続き、個々の庭園の詳細測量等を実施した。また、国指定名勝候補3庭園について、名勝指定範囲を想定した庭園全体平面図の作成や景石・樹木位置図の精査、築庭以降の修補歴等の歴史的環境を調査した。

○文化財の修理・整備

- ①弘前城跡整備
 - 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲)
・弘前城本丸石垣整備事業(H19~36年度)
H30年度は、引き続き石垣解体工事を実施し、10月26日に完了した。
 - 2)鷹揚公園[史跡津軽氏城跡]整備事業(H20~29年度)(再掲)
H30年度は、H29年度に引き続き、二の丸周辺整備の工事を実施した。
- ②旧弘前偕行社保存修理事業
事業期間:H24~31年度
H30年度は、左官工事として内外壁の中塗り及び上塗りのほか、建具取付、金物製作等を実施した。
- ③藤原信政公霊所瑞垣保存修理事業
事業期間:H30
部材の取り替え及び塗装を実施し、事業が完了した。
- ④旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業
事業期間:H28~31年度
H30年度は、旧弘前偕行社の設備改修工事を実施した。
- ⑤津軽為信霊屋木塀・門修理事業
事業期間:H30年度
傷みのある部材の取り替えや根巻きなどの補強的修理を実施し、事業が完了した。
- ⑥旧第五十九銀行本店本館美装化事業
事業期間:H30年度
屋根瓦や外壁漆喰等の美装化工事のための実施設計を行った。(美装化工事はH31年度へ繰越)
- ⑦旧第五十九銀行本店本館文化財建造物等活用地域活性化事業
事業期間:H30~31年度
H30年度は、保存活用計画策定のための検討委員会を開催した。(保存活用計画策定はH31年度へ繰越)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

文化財の修理・整備

②旧弘前偕行社保存修理事業
左官工事の様子



小集会所や控室等の壁の上塗りが完了した。

建具工事の様子



回転窓や引違窓、上下窓などの各建具及びクレセント等の金物の取り付けが概ね完了した。

③藤原信政公霊所瑞垣保存修理事業

【施工前】



積雪により屋根が毀損するなど老朽化が著しかった。

【施工後】



木製屋根を取り替えた。また、併せて補強工事を行った。
竣工：平成30年11月24日

④旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業

【電気設備工事の様子】



高圧受変電設備に係るコンクリート柱を設置した。

【電気設備工事の様子】



高圧受変電設備に係る電線管の埋設等を行った。

⑤津軽為信霊屋木塀・門修理事業

【施工前】



木塀及び門の割れや基礎部分の沈み等が見受けられ、史跡景観を損ねていた。

【施工後】



傷みのある箇所を部材を取り替え、古色塗りをを行ったことにより、史跡景観の向上が図られた。竣工：平成30年7月24日

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域にある高照神社宝物殿に収蔵されている重要文化財工芸品を中心とした保存・活用施設を建設し、弘前城跡ではガイダンス機能を持った二の丸利活用施設(弘前城情報館)を設置する。また、仲町伝統的建造物群保存地区内で、電線類の地中化を進める。さらに、重要文化財(建造物)の防災設備の更新を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の周辺環境の保全
 ①伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、H30年度は地上機部分の特殊部と街路灯の設置等を実施した。(再掲)

○文化財の防災
 ①文化財防火デーに合わせて重要文化財高照神社において防災訓練を実施。
 ②旧第五十九銀行本店本館防災設備設置事業
 事業期間:H30年度
 H30年度は、実施設計を行った。(工事はH31年度へ繰越)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等

文化財の防災

①文化財防火デーに合わせて1月25日に、重要文化財高照神社において防災訓練を実施。



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民族芸能等の記録保存を行うと共に、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○保存・活用の普及と啓発</p> <p>①「津軽塗技術保存会特別発表会」開催(再掲) 市民・観光客等を対象とした津軽塗作品等の展示及び販売のほか、津軽塗に関する解説パネルの展示などを行った。 4月25日～5月6日、11月1日～11日に実施。参加人数:1,487人</p> <p>②「堀越城跡現場見学会」開催。 復元工事の進む旧石戸谷家住宅や中土壘が完成した外構地区などの見学会を実施。 5月27日に実施。参加人数:282人</p> <p>③「史跡堀越城跡整備現場体験学習及び現場見学会」開催。 地元の小学生を対象に、整備の進む旧石戸谷家住宅の土間叩き体験及び堀越城跡の整備現場の公開を実施。 7月5日、10月24日に実施。参加人数:延べ160人</p> <p>④「ちびっこ縄文講座」開催。 市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。 6月26日、7月9日、9月26日、10月30日に実施。参加人数:延べ80人</p> <p>⑤重要文化財旧弘前偕行社保存修理現場特別公開 保存修理実施中の旧弘前偕行社の修理現場を特別公開。見学人数を定めて3回実施。 7月29日に実施。参加人数:56人</p> <p>⑥「大森勝山じょうもん祭り」開催。 埋蔵文化財担当職員による解説付の遺跡案内ツアー、史跡全貌を眺望できる仮設展望台の設置などを実施。 8月5日に実施。参加人数:269人</p> <p>⑦「弘前城本丸石垣修理体験イベント」開催。 石割体験や石垣解体現場説明会などを実施。 8月11日に実施。参加人数:217人</p> <p>⑧「ひろさき歴史体感ツアー」開催。 大森勝山遺跡と砂沢遺跡、弘前城跡の石垣の石材産地(石切丁場)と高照神社馬場跡、乳井茶臼館と堀越城跡をめぐるツアーを実施。 8月18日、25日、26日の3日間実施。参加人数:延べ104人</p> <p>⑨「古代史シンポジウム」開催。 考古学及び文献史学の専門家による講演等を実施。 9月29日に実施。参加人数:180人</p> <p>⑩「弘前市仲町シンポジウム」開催。 学識経験者による講演や公開武家住宅等を巡る見学会を実施。 10月13日に実施。参加人数:91人</p> <p>⑪「堀越城秋まつり」開催。 城郭の専門家らによるシンポジウムや整備現場見学会などを実施。 10月14日に実施。参加人数:576人</p> <p>⑫「まちなかクラフト村」開催。 市内の工芸品の展示・販売を実施。 さくらまつり期間中(4月13日～5月13日)など計13回実施。参加人数:延べ●●●●●人</p> <p>⑬その他学習支援及び一般説明等 小中学校の学習支援として弘前城本丸石垣解体工事現場見学会など文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。 実施回数27回 参加人数:●●人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。		

- ①「津軽技術保存会特別発表会」
平成30年4月25日～5月6日ほか
参加人数:延べ1,487人



- ②「堀越城跡現場見学会」
平成30年5月27日
参加人数:282人



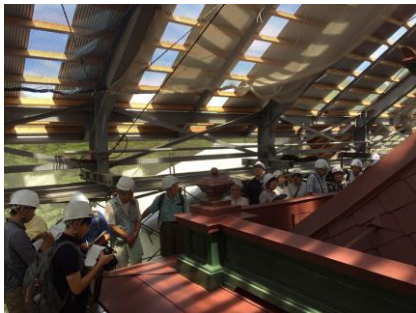
- ③「史跡堀越城跡整備現場体験学習
及び現場見学会」
平成30年7月5日、10月24日
参加人数:延べ160人



- ④「ちびっこ縄文講座」
平成30年6月26日ほか
参加人数:延べ80人



- ⑤「重要文化財旧弘前借行社保存修理現場特別公開」
平成30年7月29日 参加人数:56人



- ⑥「大森勝山じょうもん祭り」
平成30年8月5日 参加人数:269人



- ⑦「弘前城本丸石垣修理体験イベント」
平成30年8月11日 参加人数:217人



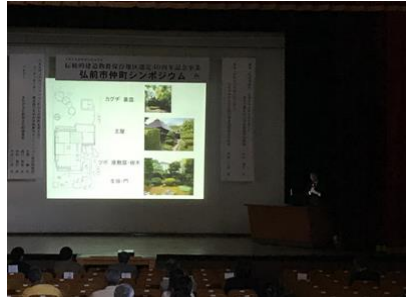
- ⑧「ひろさき歴史体感ツアー」
平成30年8月18日・25日・26日
参加人数:延べ104人



⑨「古代史シンポジウム」
平成30年9月29日 参加人数:180人



⑩「弘前市仲町シンポジウム」
平成30年10月13日 参加人数:91人



⑪「堀越城秋まつり」
平成30年10月14日 参加人数:576人



⑫「まちなかクラフト村」
平成30年4月13日 ほか 参加人数:●●●人



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
弘前城の知識深めて 下乗橋東側に「情報館」オープン デジタルデバイス活用 歴史紹介や映像投影	平30. 4. 21	陸奥新報
旧消防屯所で津軽塗伝承 弘前・紺屋町 保存会研修拠点に	平30. 4. 26	東奥日報
津軽伝統工芸…歴史、デザインにどっぷり こぎんの古里体感 首都圏の愛好家ら弘前など巡る	平30. 10. 6	東奥日報
仲町の魅力や未来は 弘前でシンポジウム 武家屋敷などの伝統的建造物群 保存・活用へ意識高め	平30. 10. 14	陸奥新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前城二の丸情報館のオープンや、旧紺屋町消防屯所を津軽塗技術保存会の活動拠点としての活用など、歴史的風致の活用及び維持向上に関する話題が新聞で取り上げられた。また、こぎんや仲町伝統的建造物群保存地区等、当市の歴史的風致の魅力が周知された効果は高い。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後とも、計画の着実な推進により、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。

状況を示す写真や資料等



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

弘前大学総合文化祭において、当市が有する景観資源である歴史的建造物についての周知及び情報発信を行う景観ブースを開催し、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や地域資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

より良い未来の景観づくりについて楽しみながら考える機会となった。将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。



状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前大学総合文化祭)】
「前川國男建築から始まる日本の近代建築ツーリズム」
平成30年10月20日 参加者約700名



来場者に配布した前川國男建築プリントマシュマロ



評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成30年度弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時:【第1回】平成30年12月7日 【第2回】平成31年3月26日	
(コメントの概要)	
【第1回】	
<ul style="list-style-type: none"> ■議事の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市歴史的風致維持向上計画最終評価(案)について ・弘前市歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)について ■コメント <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業が景観に配慮し、自ら看板を撤去したり、建築物の色彩を変更して市の景観づくりに協力しているという点について、最終評価で気づかされ、企業努力を感じた。 	
【第2回】	
<ul style="list-style-type: none"> ■議事の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗評価について ■計画の進捗評価についてのコメント 	
第1回協議会の様子	第2回協議会の様子
	
(今後の対応方針)	
【第1回】	
<ul style="list-style-type: none"> ・委員からの指摘事項等を修正し、平成31年2月26日付で認定申請。 	

今後のスケジュール等について

○平成 30 年度進行管理・評価シートについて

- 平成 31 年 3 月 26 日 協議会から意見聴取
→意見等の反映・修正
- 4 月～5 月 実績の追記
- 5 月 31 日 進行管理・評価シートの国への提出期限
- 6 月頃 国から修正意見・記載内容の調整
→進行管理・評価シートの確定
- 7 月頃 進行管理・評価シートを市ホームページで公表

○弘前市歴史的風致維持向上計画（第 2 期）の状況について

- 平成 31 年 2 月 26 日 農林水産省・文部科学省・国土交通省へ認定申請
- 3 月下旬 計画認定予定
- ※認定されしだい、市ホームページで公表予定